

2018年8月17日

株式会社HIROTSUバイオサイエンスに投資しました！

～線虫がん検査法「N-NOSE」の実用化を目指すベンチャー企業の成長をサポート～

株式会社伊予銀行（頭取 大塚 岩男）といよぎんキャピタル株式会社（社長 大泉 謙一）が共同出資している「いよベンチャーファンド5号投資事業有限責任組合」は、株式会社HIROTSUバイオサイエンス様（代表取締役 広津 崇亮様）に投資しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

今回投資いたしました株式会社HIROTSUバイオサイエンス様は、線虫ががん患者の尿には近づき、健常者の尿からは離れる特性を利用したがん検査法「N-NOSE」の実用化を目指すベンチャー企業で、既に医療機関と連携した大規模な臨床研究を進めており、昨年末には愛媛県松山市に四国解析研究所を開設しています。

当行グループは、今後とも起業された方や新事業に取り組むベンチャー企業等に幅広く出資し、販路拡大や経営相談など全面的にサポートいたします。

記

○出資日

2018年8月1日（水）

○出資先概要

項目	内容
投資先名	株式会社HIROTSUバイオサイエンス
所在地	東京都港区南青山2-24-11 フォーラムビルディング2F
投資形態	株式投資
事業内容	線虫がん検査「N-NOSE」の研究・開発
資本金	16億4,207万円（資本準備金含む）
設立日	2016年8月
特徴	・「N-NOSE」は、尿1滴で検査するため苦痛がなく、ステージ0でも90%以上の非常に高い発見率となっており、8千円台で2020年に市場投入することを目指しています。 ・簡便かつ網羅的にがんの有無を調べられる1次スクリーニング検査として、安価、高感度、早期発見が可能といった優れた特長を持つ「N-NOSE」が社会実装することで、がん検査受診率の飛躍的向上と、早期がん発見率の上昇、がんによる死亡者数の激減、医療費の大幅な削減が期待されます。

以上